

令和5年度 健康保険組合予算編成状況—早期集計結果（概要）について—

【概要版】

令和5年4月20日
健康保険組合連合会

- ① 令和5年度予算の経常収支は、▲5,623億円の赤字となる見通し（約8割が赤字）。
- ② 保険料収入は対前年度比2.8%（+2,317億円）の増加。一方、保険給付費は5.5%増（+2,475億円）と、4年度（同5.5%）に引き続き、依然、高い伸びを維持。
- ③ 高齢者等拠出金は、4年度の一時的な減少（▲5.7%）の反動から7.3%（+2,523億円）の増加。とくに後期高齢者支援金が9.9%（+1,967億円）と急増。

- ▶ 令和4年4月～5年1月の医療費（健保組合）は、医科7.3%（入院外13.0%、入院▲2.4%）、調剤5.0%と依然、高い水準で推移しており、5年度以降も、新型コロナウイルス感染拡大等の影響が不透明であり、変動が著しい医療費の動向を引き続き注視する必要がある。
- ▶ また、高齢者拠出金が6年度以降、毎年増加するなか、賃金引き上げによる保険料収入への効果が予測し難く、今後の財政影響が懸念される。

	令和5年度予算早期	令和4年度予算	伸び率
保険料収入	8兆5,038億円	8兆2,721億円	2.8%
保険給付費	4兆7,820億円	4兆5,345億円	5.5%
高齢者等拠出金	3兆7,067億円	3兆4,544億円	7.3%
経常収支差引額	▲5,623億円	▲2,805億円	
平均標準報酬月額	38万4,018円	37万7,907円	1.6%
平均標準賞与額	116万3,361円	112万0,066円	3.9%
平均保険料率	9.27%	9.26%	—
実質保険料率	10.10%	9.85%	—

【ポイント】

- ① 標準報酬月額が1.6%増の38万4,018円、標準賞与額は3.9%増の116万3,361円。新型コロナウイルス感染拡大前の元年度決算比では、月額1.5%、賞与額▲1.4%と依然低い水準。
- ② 平均保険料率は0.01ポイント増の9.27%。実質保険料率は0.25ポイント増の10.10%
- ③ 高齢者等拠出金のうち、前期高齢者納付金は3.8%増（+557億円）の1兆5,135億円、後期高齢者支援金は9.9%増（+1,967億円）の2兆1,930億円。
- ④ 保健事業費は2.0%増（+91億円）の4,580億円。
- ⑤ 介護保険料は前年とほぼ同率の1.78%。料率を上げた組合は130組合。

※各組合における予算編成は、12月下旬発出の予算編成通知に基づき、翌1-2月にかけて策定するため、保険料収入や保険給付費等の各数値は、同時点で判明している過去の実績及び直近までの動向等を踏まえて見込んだものである。